

## 「第8回じば産物産展」を開催

地域の賑わいと地域産業の振興や活性化を図るために、「第8回じば産物産展」を開催します。

市内事業所からの製品や地域団体などによる農工食品の展示・販売。加西自慢の飲食コーナーのほか、ステージイベントや体験コーナーなどの楽しい催しが盛りだくさんです。

■日時／11月2日(土) 10:00～16:00 ※小雨決行

■場所／兵庫県立フラワーセンター ※当日入場料無料

■内容／出店ブース(展示・飲食・販売)、ステージイベント(獣電戦隊キョウリュウジャーショー、ねっぴ〜ダンス・ソング、幼稚園児の和太鼓演奏、各種のバンド演奏・歌、ものまねショーなど)、チェーンソーアート、体験ブース(サッカーキックダーツ、はしご車など)、Wチャンス抽選会(9月末までに利用されたねっぴ〜商品券及び9月末までに得・とく大福帳カード(ためきカード)加盟店から配布された抽選券が対象)

多くの人で賑わう「じば産物産展」



【問合先】 じば産物産展実行委員会事務局(加西商工会議所内) ☎0416

## ねっぴ〜& フドッキー博士の風土記の里をたずねて

### ■第1回 播磨国府跡(姫路市総社本町)

日本最古の地誌『播磨国風土記』に記述されているゆかりの地を、ねっぴ〜と風土記のことなら何でも知っているフドッキー博士がたずねて行きます。ふるさとの歴史をみんなで学びましょう!



フドッキー博士、記念すべき第1回目ですね。でも姫路郵便局に来てもたけど。加西じゃないの?



ねっぴ〜の故郷の加西からじゃなくてすまない。でも、播磨国風土記にとって大切な場所なんじゃ。昔ここに播磨国の国府があったとされるんじゃ。



国府って何?



奈良時代から国ごとに置かれた、税、軍事などの仕事を行う地方政治の中心地なんじゃ。今から1300年前の和銅6年(713)5月、奈良の朝廷から、全国60余国に地誌をつくるように命令があり、播磨国は、国府に務める楽浪河内(さざなみのこうち)を中心に報告書の作成がはじまったといわれておる。これが播磨国風土記なのじゃ!



でも博士、郵便局しかないやん! ここにあったという証拠はないの?



いい質問じゃな。実は建設前に発掘調査が行われ、役所に使われたような大きな建物跡が見つかっておるんじゃ。現在は姫路市の埋蔵文化財センターで出土品や発掘の様子が見学できるぞ。国府は現在の姫路駅の北からお城付近まで広がっていたそうじゃ。



姫路市埋蔵文化センター(☎079-252-3950)にある本町遺跡の出土品と遺構写真



そんなに大きかったんや! 国の大事業である風土記づくりがここから始まったのね。旅のはじまりにふさわしい場所ですね博士。これからの旅が楽しみ。風土記ドキドキ!



問合先／播磨国風土記推進室 ☎08756

KASAI データバンク 人口／46,486(−25) | 男／22,649(−5) | 女／23,837(−20) | 世帯数／17,085(+5)  
H25.8.31 現在(前月比) 8月の出生数／32人 死亡数／38人

■ 加西市ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>

■ 加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

発行／加西市

〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110(代)

編集／加西市ふるさと創造部秘書課 ☎0790④8701 FAX0790④0291